

3月15日に6人が一般質問をしました。

一般質問とは…議員が村長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する方針など、諸問題について報告や説明を求めたり、質問することをいいます。

一般質問項目一覧表

- | | |
|-------------------------------|-------|
| ①鈴木康祐議員 | 9ページ |
| 1. 骨髄バンクドナー等助成金の設立を | |
| 2. とびくん・しまちゃん・とびしマンのLINEスタンプを | |
| ②加藤光彦議員 | 10ページ |
| 1. 村の活性化策をどのように進めていくのか | |
| ③上田光彦議員 | 11ページ |
| 1. 飛島聖苑の利用時間の延長を | |
| 2. 日光川水閘門の有事の際の連絡体制は | |
| ④橋本渉議員 | 12ページ |
| 1. 避難所は住民に開放し消防団の活動拠点にせよ | |
| 2. 国民健康保険料を値下げせよ | |
| ⑤服部康夫議員 | 13ページ |
| 1. 自動運転走行実験 | |
| ⑥渡邊一弘議員 | 14ページ |
| 1. ブロック塀対策の見直しを | |
| 2. 保育所・保育園の統合について、その後の状況は | |
| 3. 公園のトイレの洋式化を求める | |

ズバリ!!
村政を問う

一般質問

皆さんの傍聴をお待ちしています

議会の詳しい内容は、図書館に備えてある会議録をご覧くださいか、
飛島村公式ホームページをご覧ください。

<http://www.vill.tobishima.aichi.jp>

Q 骨髄バンクドナー等助成金の設立を

A 骨髄提供者助成制度を新設



鈴木康祐 議員

問

競泳女子の池江璃花子選手が「白血病」を明らかにしました。

「神様は乗り越えられない試練は与えない、自分に乗り越えられない壁はないと思っています。」と現在の思いを綴り、沢山の方から励ましのメッセージと、多くの方が骨髄バンクに登録し彼女を応援する社会現象になっています。

池江選手の病気の治療法の一つである骨髄又は末梢血幹細胞移植は、毎

年多くの患者が移植を希望しています。

しかし、日本骨髄バンクを介して実際に移植が受けられる患者は約半数にとどまっています。

その原因の一つとして、提供時における面談・通院・入院の時間的拘束が多いなど、様々な負担があります。そしてこれらの負担はすべてドナーの方の善意によるものです。一人でも多くの患者の命を救うため、少しでもドナーの方の負担軽減を図るために、骨髄バンクドナー等助成金交付制度の設立を要望します。

答

○村長
骨髄または末梢

血管細胞の移植を希望している患者と、ドナーは、白血球の型が適合する必

要があります。

患者の約95%は、1人以上の適合者が見つかりますが、実際に移植が行われるのは全体の60%未満まで低下すると言われています。

この原因として、骨髄等の提供は約1週間程度の入院や通院が必要であり、ドナーの時間的、ま

た経済的な負担が高くなっていることが考えられます。

このことから本村でもドナーの負担をできるだけ軽減し、提供しやすい環境を構築することを目的として、平成31年度から骨髄提供者助成制度を新設します。

なお、事業所への助成については、本村では過去に骨髄等の提供事例がないため、新設する助成制度の実績等を踏まえながら検討していきます。



骨髄バンクのリーフレット

Q とびくん、しまちゃん、とびしマンのLINEスタンプを

A 親しみを感じていただけるよう検討する

鈴木康祐 議員

問

LINE※ならではの機能として「スタンプ」があります。かわいらしかったりユーモラスだったりするイラストが多く、LINEを象徴するほどの人気機能となっています。

他の自治体で公的なスタンプを作り、住民に各種行事などを周知するために制作していると聞きますが、飛島村も、認知度の向上や住民の交流に、環境シンボルキャラクターである、とびくん、しまちゃん、そしてとびしマンのLINEスタンプを作成して、飛島村のアピールにつなげていただくよう要望します。

答

○村長
LINEスタンプ

については、観光交流協会で作成の検討を進めるよう指示をしました。

このようなツールを作成することで、少しでも住民の皆様が郷土である飛島村に親しみを感じていただけるものと思いますし、作成したスタンプをあらゆる場面でご利用いただくことによって、対外的に飛島村を発信していただけるのではないかと期待しています。

LINEスタンプを制作する際には、とびしマン等の新たなデザインが必要になりますので、新年度の早い段階で販売できよう、観光交流協会で調整を進めていきます。



とびしマン

Q 村の活性化策をどのように進めていくのか

A 活性化をはかりながら村の魅力を磨き上げる



加藤光彦 議員

問 最近になって村内の飲食店や商店の閉店が相次ぎ、村の活気が失われつつある。飛島村が「日本一裕福な村」と言われる一方で村内の店の灯りが一つ一つ消えつつあるのが現状である。行政として村の活性化のために、でき得る施策をスピード感を持って行っていく必要があるのでは。

私はその一つが人口増加策だと考える。本村の総合計画では2022年度の将来人口5千人を目指すとなっている。村

の人口は3月1日現在で4768人まで増加している。目的達成のため、新規住宅地開発事業をもう1力所計画すること、空き家・空き地を有効活用して人口を増やしていくことを提案する。人口が増えれば少なからず需要が増えることが期待できる。加えて官公需、つまり役場関係の需要をこれまで以上に村内業者が受注できるよう役場がその機会を増やすことが村内業者の事業継続の一助になると思う。

村の活性化のためには他にも観光交流協会と商

業者や農業者の連携を図ることや、特産品開発の推進及び販売促進などを同時進行的に進めていくことも必要だと考える。

近隣市町に比べ高齢化

が進んでいる飛島村の将来を見据えた時、人口構成のバランスを取るために若者世代の定住を促進することや、衰退する商業を補完する意味合いにおいても活気のある村づくりに不断の努力をしていくことが求められていると思うが、村長の見解をお尋ねする。

答 ○村長

村の活気を取り戻していくことは非常に重要なテーマであり、村としても観光交流協会の設立など、賑わい創出に取り組んでいるところで

す。新規住宅地の開発については、急激な人口増加はインフラ整備の面からも好ましくないものと考えており、段階的な人口増加策を検討していきま

す。

村の活性化及び村内事業者育成という視点から、村内事業者の受注機会の拡大は必要と考えており、本村が発注する小規模な工事や物品の納入などについての要綱に沿って引き続き対応していきます。

観光交流協会の連携促進については、とびしまルシェ等、各種の事業を

展開し、事業者や農業者の皆さまとの連携を深めていきます。

特産品の開発推進及び販売促進については、飛島村の農産物を使った「おもてなしレシピ」を作成して、産直市にて無償配付しています。

また、ほうれんそうを使った「もなかアイス」の商品化を行い、観光交流協会にて各種イベント等で販売をしています。

さらに本年度は、飛島村をPRできる新商品の開発・試作を行っており、商品販売時に着用する法被など販売促進にかかるものも手掛けています。

若者が住みたくなくなる村づくりについては、若者にとって魅力のある村とする必要があり、現在、観光交流協会を中心に村の魅力を発掘し、磨き上げることに取り組んでいます。



第2回とびしまルシェ

**Q 飛鳥聖苑の利用時間の延長を
(葬儀後の法要に利用できるように)**

A 利用の範囲内で検討



上田光彦 議員

問 飛鳥聖苑で告別式後の法要にも利用できるように利用時間の延長もしくは増築はできないか。

答 ○村長

現在の火葬場及び葬祭場は、午前と午後の部の利用形態としていますので、利用時間の延長は難しいと考えています。

また、飛鳥聖苑の増築についても、現状の運営で支障がないと考えており、現段階で増築は考え

ていませんが、今後改善できるところは検討させていただきます。

問 近隣自治体の利用状況は？

答 ○保健環境課長

愛西市は火葬に引き続いて初七日法要も利用可能な施設です。

問 愛西市で火葬に引き続き利用される方は何割程あるか？

答 ○保健環境課長

約9割程度の方が利用されているとのことですが。

問 葬儀の形、住宅環境が大きく変化してきています。飛

鳥聖苑ですべて完結できませんように利用時間の延長を求めます。

答 ○村長

ご利用時間の範囲内でご活用いただけるように運用を検討します。



飛鳥聖苑

Q 日光川水閘門の有事の際の連絡体制は

A 今後も密接な連絡体制を維持する

上田光彦 議員

問 県も飛鳥村も、日光川流域の防災

の要であるという意識を常に持つべきであると考えます。

答 ○村長

村内には日光川水閘門をはじめ、県の河川管理施設が複数あります。

いずれも重要な施設ですので、今後、防災訓練を含めた効果的な防災対策について県と協議検討していきたいと考えています。

問 有事の際の連絡体制は？

答 ○総務課長

河川管理者である愛知県海部建設事務所からホットラインで連絡が届く体制となっています。

問 ホットラインとは？

答 ○総務課長

村長が発令する避難情報などの判断支援のために、河川管理者である海部建設事務所長から直接村長に情報が伝達される仕組みです。



日光川水閘門

問 県の河川情報は、どのようなものか、誰が見ることができるのか？

答 ○総務課長
愛知県が作成しているホームページから誰でも閲覧できます。

問 施設を見学したり、説明を受けたりする機会がありますか？

答 ○総務課長
見学については、要望があれば可能な限りの対応はしていただけると聞いています。

○上田光彦議員

飛鳥村の職員も、県の職員も、その重要性を常に意識して日頃の防災対応を実施していただきたい。

Q 避難所は住民に開放し消防団の活動拠点にせよ

A 分団車庫の更新などに併せて活動拠点を検討します



橋本 渉 議員

問 飛鳥村は避難所を6カ所作りまして、あるだけでは災害時どうしたらいいか、わからず戸惑うことになり

ます。日ごろから住民が避難所を利用し物資の備蓄なども把握している必要があります。

また、消防団は避難所を活動拠点にすべきです。災害が起こった時には消防団員が地域の住民を避難所に誘導するなど活動が必要になります。日

答 ○村長
避難所を多くの住民の方に利用していただき、知っていただくことは、有事の際に有効な避難行動に繋がることと考えています。

これまでも、毎年の防災訓練や宿泊訓練などの各種防災に関する利用や、地区の行事や各種団体活動などでもご利用いただいています。今後

も地区や各種団体には、積極的なご



服岡一時避難所

Q 国民健康保険料を値下げせよ

A 負担増とならないよう努めていく

橋本 渉 議員

問 国民健康保険は今年度から都道府県単位化されましたが保険料については、各自治体まちまちです。

県が示した標準保険料率にすると大きく増税になります。

飛鳥村は値上げをせず一般会計からの繰り入れを行っています。

県は繰り入れを計画的に解消・削減するように定めていますが、飛鳥村は今後も繰り入れを行い保険料の値上げをやめるべきです。

いま、飛鳥村の国保会計は十分余裕があります。平成29年度は4000万円の基金積立をしましたが決算では3900万円も余っています。

1世帯あたり1万円の値下げは600万円の予算があればできます。保険料を値下げすべきです。

答 ○村長

本村の国民健康保険は、愛知県国民健康保険運営方針に基づき、資格管理、保険給付、保険税の賦課・徴収等の事務を行っています。

愛知県が定めた国民健康保険運営方針は、「平成32年度までが対象で、3年ごとに検証を行い、必要な見直しを行うものとする」となっており、今後の動向については、改めて方針が示されるも

のと考えています。国民

健康保険税は、愛知県から示された標準保険料率を参考に市町村が税率を決定することとされています。

国民健康保険税の推移については、飛島村国民健康保険運営協議会にて委員の皆様と協議し進めています。

本村としましては、被保険者への負担増とならないよう努めていきたいと考えています。



住民課窓口

Q 自動運転走行実験

A 精査しながら進める



服部康夫 議員

問

この件に関して、各メーカーがすでに取り組んでいるが、本村が協力をする必要である。

どのように協力していくか。

- ① 協定相手はどこか。
- ② 場所（走行・事務所）の提供だけか。資金の提供はあるか否か。
- ③ 実施年数は、何年を見込んでいるか。
- ④ 走行実験中に事故が起きた場合、責任はどこ

答 ○村長

① 名古屋大学を

が取るか。
費用負担を全て村がすることのないよう協定相手と精査をして、村の負担が増えないように進捗してください。

はじめとする関係機関と連携を取りながら、協定締結に向けて調整を進めています。

② 主に北拠点避難所の多目的広場を中心としながら、村道等も走行して実験データを蓄積すること想定しています。

過度な投資とならないよう住民の皆様のご理解を得られる費用負担となるよう協議を進めます。

③ 複数年にわたって、技術開発に取り組んでいく必要があると考えていま



とびしまマルシェで自動運転車両展示

④ 協定では、損害保険会

社もメンバーに含まれていることから、万が一、事故等が発生した場合に、本村が過度な負担を被ることがないような制度としていきたいと考えています。

Q ブロック塀対策の見直しを

A 利用しやすい制度へと検討する



渡邊 一弘 議員

ください。

答 ○村長

本制度は、昨年

制度が創設され、費用負担の軽減を含め、これまで以上に利用しやすい制度となるものと考えます。

6月に発生した大阪府北部地震でブロック塀の倒壊により、幼く尊い命が失われたことが契機となり、このようなことが起きないように、地震発生時に道路に面している倒壊の恐れのあるブロック塀等の撤去工事をを行う場合、費用の部を助成する目的で昨年10月に制度を創設しました。

平成31年度から国の住宅・建築物安全ストック形成事業の中のブロック塀等の安全確保に関する事業が創設され、愛知県においても、本事業に対応した助成

問 昨年6月の大阪府北部地震で女兒が亡くなられたことを受けて、危険ブロック塀の改修に補助を付けるという国の動きに連動し、昨年村も危険ブロック塀の撤去に補助を付ける制度が作られました。そして今年3月1日の報道によると、県も撤去改修補助を付けるとのことですが、村の対応をお答えく

村としても県の補助も活用し、現行制度を見直し補助の増額を求めますが、

が、村の対応をお答えく



ブロック塀

Q 保育所・保育園の統合についてその後の状況は

A 立ち止まり熟考する

渡邊 一弘 議員

問

昨年的一般質問で、統合については支援計画を活用し、広く意見を伺う機会を設け進める、とのことでした。

その後の動き、状況をお聞かせください。

答 ○村長

昨年9月議会では、就学前から連携を取り、保育・教育環境の充実を図る必要性について答弁してきました。

保育所・保育園に通う子どもたちは、どちらも飛鳥村の子どもたちであるという考えから、民間保育園でも公立と同様の対応、処遇ができるよう配慮し、様々な運営に対する補助をしてきました。

この政策により、保護者の方には、二つの保育施設から選べるメリットがあると考えていますが、同様の保育環境を整えるため、公私のバランスに



保育園卒園式

係る配慮や、コスト面の負担等の在り方も検討課題として考えられます。

したがって、様々な課題を複合的に検討し、保育行政の持続可能性を担保していくため、一旦立ち止まり、村全体の保育行政の在り方について熟考を重ね検討していきます。

Q 公園のトイレの洋式化を求める

A 皆に優しい環境整備を検討する

渡邊 一弘 議員

問

役場・公民館などトイレの洋式化がなされました。村民から公園のトイレも洋式化してほしいとの声を聞きました。

私も洋式化を望みますが、村の考えをお聞かせください。

答

○村長

昨今、村内の公共施設のトイレにおいても施設利用者の多様化により、順次洋式化を進めてきましたが、公園も同様に不特定多数の利用者があり、ストレスフリーな環境整備を整えることが望ましいと考えていて、今後、順次整備を進めるべく検討していきます。



新政公園トイレ

人事案件

監査委員を再任



伊藤幹男さん(69歳)

《南竹之郷》

(全員賛成で同意)

一部事務組合議会議員

3月31日の任期満了に伴い、指名推選をもって再任されました。水防事務組合の議員は村消防団長の交代によるものです。

▼海部地区急病診療所組合

◆加藤 光彦 議員

▼海部南部広域事務組合

◆上田 光彦 議員

▼海部地区水防事務組合

◆中島 崇さん (新任)

委員会レポート

2/21

環境対策委員会

検討事項の報告を受け、情報交換をしました。

3/6

文教厚生委員会

3/7

総務経済委員会

関係議案の審議及び総合体育館大規模改修工事の現場を視察しました。



▲総務経済委員会



▶文教厚生委員会